

お お や ま だ ちゅう が っ こう 大山田中学校だより



伊賀市立大山田中学校

No. 6

2026年9月4日

ぜんこくがくりよく がくしゅうじょうきょうちようさ けっか ぶんせき 全国学力・学習状況調査の結果・分析について

4月23日(木)他に実施されました全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されました。この調査は3年生を対象に子どもたちの学力の状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。今年度については国語・数学に加えて英語(聞くこと・読むこと・書くこと・話すこと)も調査が実施されました。この調査結果をきっちりと分析し、保護者や地域のみなさまにも情報共有をさせていただき、今後の取組をさらに充実させていきたいと思っておりますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

ちようさけっか ぜんこく へいきんせいとुरいっつ ひかく 《調査結果》 全国の平均正答率と比較して

こくご 国語	すうがく 数学	えいご 英語(IRT スコア)
うわまわ 上回っている	うわまわ 上回っている	うわまわ 上回っている

国語 ぜんこくへいきん ひかく つよ よわ 全国平均と比較しての強み(○)と弱み(●)

- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」全てにおいて三重県・全国の正答率を上回っている。中でも「読むこと」における正答率が、県・全国平均に比べてきわめて高い。
- 助動詞の働きや単語の活用など、言葉の特徴や使い方に関する事項の正答率が高い。
- 文章を読んで理解したことに基づき、問われているものを正しく選択する問題の正答率が、県・全国平均に比べてきわめて高い。
- 自分の考えを書く問題において、正答率が低い。
- 記述式の問題が3題あったが、無回答の生徒が一定数存在する。

こんご とりくみ 〈今後の取組〉

- ・条件付きの作文に今後も取り組み、問題文を理解した上で取り組む習慣を身につけさせる。
- ・引き続き漢字や熟語、慣用表現など基礎の力を身につけさせる。

数学

- 「数と式」「図形」「関数」「データの活用」の全ての領域において三重県・全国の正答率を上回っている。中でも「図形」の領域における正答率が、県・全国平均に比べて高い。
- 選択式の問題の無回答率は全て0.0%であり、問題に取り組む意識の高さがうかがえる。

●記述式の問題において無回答率が県平均よりも高くなっている問題がある。

●データの傾向を読み取り、批判的に考察・判断し説明することが弱い。

〈今後の取組〉

・習熟度別授業を活かし、復習を中心に基礎学力をつけるための授業、あるいは基礎的な内容を取り入れながらも、発展的な問題に取り組める授業を展開する。

・記述式の問題にも取り組めるよう、思考・計算過程を丁寧に確認しながら授業を進める。

英語

○注文や道案内など日常的な場面において、必要な情報を聞き取る問題の正答率が、県・全国平均に比べてきわめて高い。

○友だちからのメールを読み、日常的な話題について、必要な情報を読み取る問題の正答率が、県・全国平均に比べてきわめて高い。

○中学校になってからの思い出や留学生との交流会で一緒にしたいことなどについて、英語で作文をする問題の正答率が、県・全国平均に比べてきわめて高い。

●短い文章であっても、英語の文章を読み、英語で要点を言い換えることに慣れていない。

●記述式の問題において無回答の生徒が多い。

〈今後の取組〉

・条件作文やテーマ作文を取り入れ、自分の経験や身近な話題について、書くことで、英作文に慣れさせる。

・英問英答形式の問題を意識して取り入れる。

生徒質問調査 全国平均と比較しての強み(○)と弱み(●)

○自分と違う意見について考えることが楽しく、学級で人と違う意見を言っても否定されないとと思っている。

○学校の授業時間以外の読書時間が長く、学校図書館へ行く頻度も高い。新聞も比較的よく読んでいる。

●平日、休日ともに、学校の授業時間以外の勉強時間が短い。

●PC・タブレットなどのICT機器を授業で使いこなしたり、プレゼンテーションを作成したりすることに対する自信があるとは言えない。

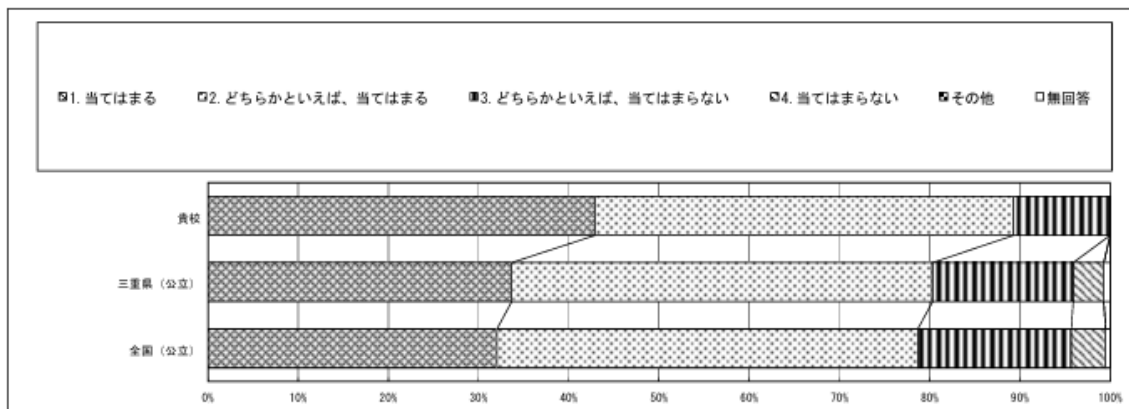
〈今後の取組〉

☆家庭学習の時間を確保し、学校での学習内容をさらに定着できるようにします。

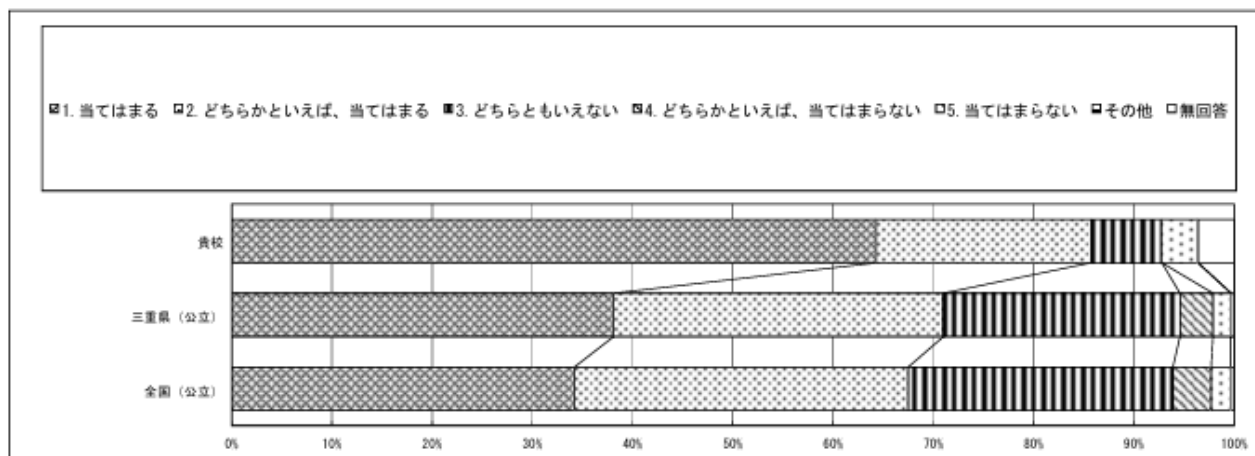
☆PC・タブレットなどのICT機器を授業や家庭でも利用し、学習内容を深め、さらにプレゼンテーションを作成・実践したり探究活動につなげたりするようにします。

《全国平均と比較して特徴的な回答》

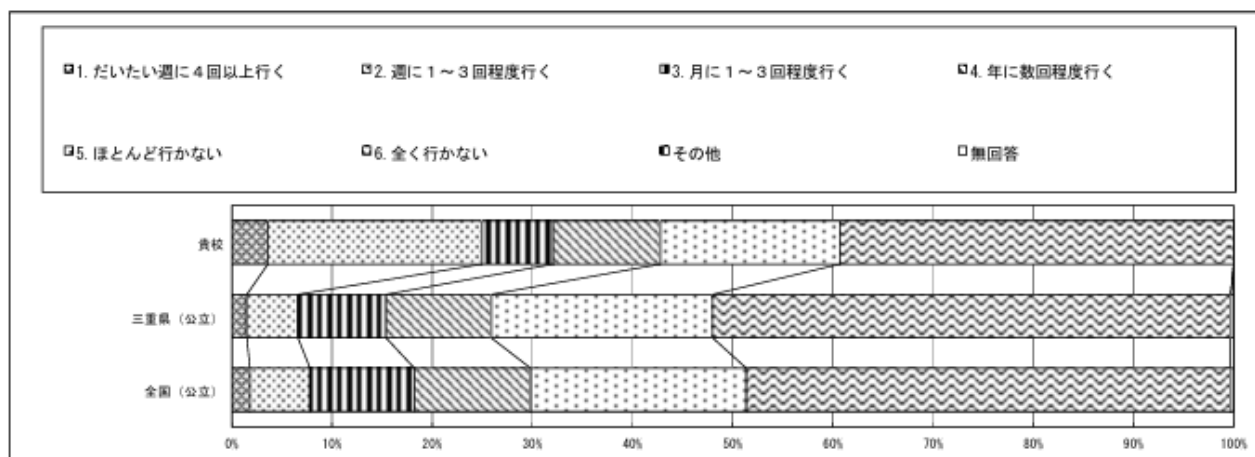
○自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



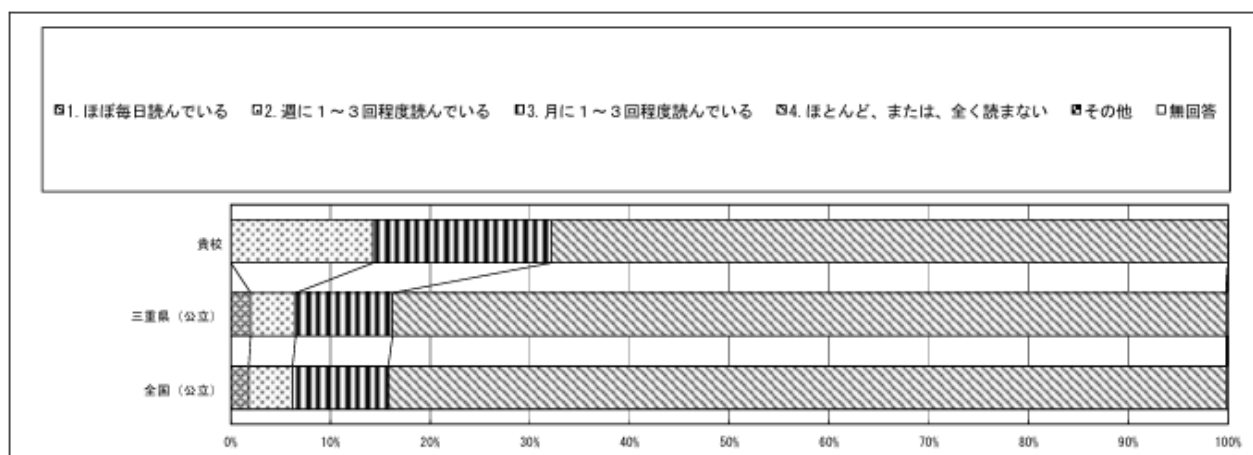
○あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか



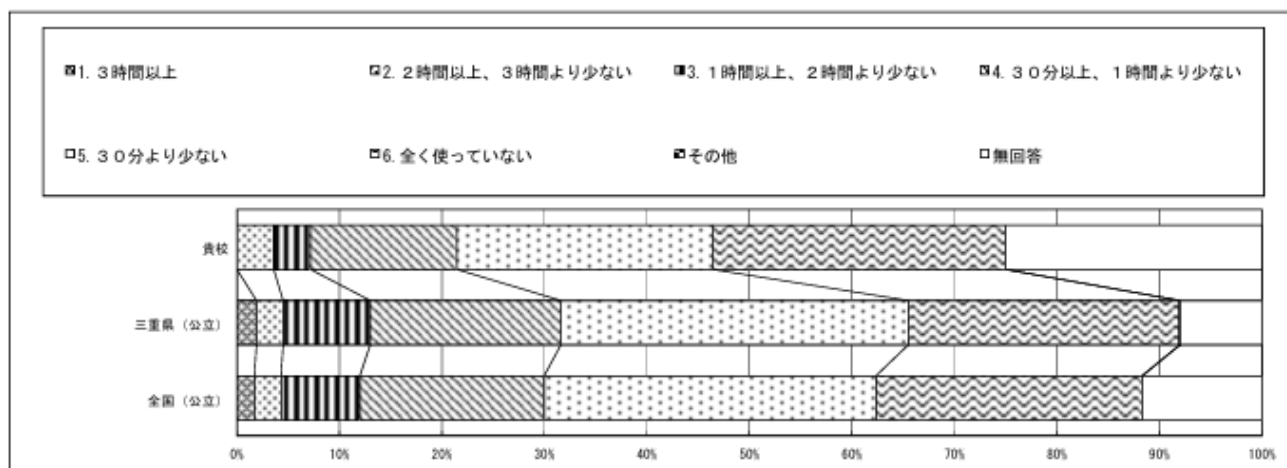
○昼休みや放課後に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室（電子図書館を含む）にどれくらい行きますか



○新聞をどれくらい読んでいますか



●学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



●あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校の活動でプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思いますか

